

樽ヶ橋エリア活性化検討委員会

事務局 佐藤利勝：

本日はお忙しい中お越しいただき誠にありがとうございます。

今日は一名の方が欠席をしております。新発田地域振興局地域整備部 神田計画調整課長さんが欠席となっております。

それではただ今から樽ヶ橋エリア活性化検討委員会を開催いたします。

はじめに当委員会の会長でもございます胎内市副市長の高橋からご挨拶を申し上げます。

高橋会長：

おはようございます。年度末の大変お忙しい時にご出席賜りましてありがとうございます。樽ヶ橋エリアにおきましては一つの旧中条町、旧黒川村の観光のスタートラインというようなところになっていると思います。

その中心施設であります樽ヶ橋遊園につきましては、平成29年から来年度令和3年にかけて大規模な改修工事を行っているところでございます。ほぼ今年度の工事は終了いたしまして、来年駐車場の整備等を行って完了ということになります。リニューアルになった暁にはもっと多くの方々にご利用いただければと考えております。

本日につきましては、樽ヶ橋エリアの活性化基本計画ならびに実施計画の進捗状況につきましてご報告させていただき皆様方のご意見をいただきながらより良い観光振興につなげていければと考えております。

本日はどうぞよろしく願いいたします。

事務局 佐藤利勝：

ありがとうございます。申し遅れましたが、私、当委員会の事務局をしております商工観光課 観光振興係の佐藤と申します。よろしく願いいたします。

議事に先立ちまして、お手元の資料の確認をさせていただきたいと思っております。

次第、資料1、資料2、の説明。

それでは次第に沿って、議題に移らせていただきたいと思います。

議題の進行につきましては、高橋会長にお願いしたいと思います。よろしく願いします。

高橋会長：

それでは私の方で進めさせていただきたいと思います。

次第に沿いまして進めさせていただきます。

議題の(1)になります。第2次樽ヶ橋エリア活性化基本計画・実施計画の進捗状況について。

令和2年度現在について議題といたします。

それでは事務局の方から説明をお願いいたします。

事務局 佐藤達也：

担当の佐藤と申します。これから私の方から説明させていただきます。

まず、1ページ目でございます。1. 施設ごとの入込客数について。1-1といたしまして、計

画目標値といたします。平成30年から34年までの5年間目標値として設定しておりまして、それに対して1-2令和2年度の現状値、入込者数を比較したものが1-2でございます。コチラの1-2につきましては、令和2年度の現状値、左が目標値で現状値が右側になっております。施設目標値に対して何パーセント達成しているかという表でございます。

本年度につきましてはこちらに記載の通りですが、胎内市美術館が138%、各開催イベントが好調であったということで達成率が100%を超えている状況でございます。

次に櫛形山ハイキングでございます。目標値8,000に対して8,900、達成率が111%ということで理由にも書かれている通りでございますが、自然というところの開放的なところもございまして登山者数が伸びたのではないかという風に考えてございます。

全体の樽ヶ橋エリアの合計値といたしましては、260,600人に対しまして、本年度、令和3年度時点の見込み値では200,982人ということで、達成率が77%でございました。コロナ禍の影響で、休館、時間短縮などもあり人数が減ったのではないかと推測しています。

次ページでございます。

今現在お話しした中で、評価分析でございますが、本年度は今まで話した通り新型コロナウイルス感染症の感染拡大が非常に大きな問題となっております。緊急事態宣言、警報などが発令された関係で当市におきましても1か月程度施設の休館、時間短縮などを余儀なくされたということでございます。

このような中でも、先ほどお話しした通り目標値を超えている施設もございまして、胎内市美術館につきましては、イベントとして伝統的なハワイアンパッチワークのデザイナー島田桃子さんの個展、そして坂井集落出身イラストレーター中村隆さんのイラスト展、東本町在住で日本画家の山崎順平さんの個展が非常に好評であったということでございます。

また、櫛形山脈の登山者数につきましては山であれば3密を避けられ安心感があるということから増加していると推測できると思っております。

一方、樽ヶ橋遊園その他施設につきましてはやはりコロナ禍の影響を受けまして休館、イベントの中止などがございまして減少してしまったということでございます。

本年度から樽ヶ橋エリアの食事処として新たに営業を始めた誠食堂さんでございまして、コロナの影響を受け減少してしまったということです。

1. の施設ごとの入込客数につきましては以上でございます。

続きまして、3ページ、2. の基本施策の進捗状況についてでございます。

こちらは施策としまして4本立てとなっております。

まずはじめに、①観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくりの推進ということでございますが、評価・課題としまして○・△・×で評価しています。

①の施策につきましては、道の駅胎内エリアの観光誘客及びイメージアップを図るためにキャッチコピーを募集し、県内外から多くの募集をいただきまして、選考委員会を経て最優秀賞が決定したところでございます。

「緑とせせらぎがあなたに奏でる道の駅胎内」というキャッチコピーをもとに令和3年度以降PRとイメージアップをしていきたいという風に考えてございます。

続きまして、専門知識を有するディレクターの役割を担う「観光振興推進サポーター」を観光協会内に設置いたしまして、観光協会、ボランティアガイド、胎内市事業者等との連携をしながらさらに今後推進してまいりたいということでございます。

②こちらにつきましては観光資源の連携ということで、市内の事業所や胎内リゾートとの連携を図りながら周遊ルートを造成したということでございます。着地型のツアーであるとか、イベ

ントでも楕形のトレッキングツアー、樽ヶ橋遊園のツリーイング等を開催しております。
続きまして4ページです。基本施策の③でございます。

③ エリアへの訪問者の満足度の向上のための人材育成ということでございますが、こちら△に書かれていたところで、エリアを訪れる観光客の満足度の向上を図るため人材の募集、既存のガイドの研修、ボランティアガイドの活用の仕組みなどを検討していくということで△になっております。

こちら今年打ち合わせを一度行ったところでございますが、なかなか研修会等開催することができず、次年度以降への課題ということで考えております。続きまして、④。

④ 辺地事業債等を活用したエリアの整備でございます。

先ほど会長からお話がありました通り、本年度につきましては樽ヶ橋遊園の北側工区改修工事を実施しております。受付とクマ舎、サル舎を新設したほか、その他全天候型のふれあい広場が新設されました。受付棟内には授乳室やキッズスペースも完備されておまして、小さなお子様でも安心してご利用いただける施設となりました。

こちらリニューアルしたパンフレットを皆さまのお手元にお配りしている通りでございます。

後ほどご覧ください。

続きまして、②活動内容でございます。

こちら施設ごとの進捗状況ということになっておりますが、抜粋してお話をさせていただきます。

まず、(1) 樽ヶ橋観光交流センターでございます。

観光ボランティアガイドの人材育成ということで、先ほどもちょっと触れましたけれども達成度としては×ということとなっております。こちらにつきましては、先ほどもご説明した通り、コロナ禍により研修会など実施予定であったものが全て中止になってしまったということでございます。

続きまして、次の6ページでございます。

(2) 樽ヶ橋遊園

施設の中でこちらもライトアップであるとか、たるりんピックというようなイベントを開催する予定でしたが、やはりコロナのリスクがあるということで中止となってしまいました。

続きまして7ページ。

(3) 黒川郷土文化伝習館

こちらにつきましても△が二つございます。やはりコロナの影響を受けた関係で中止があったということでございます。

続きまして8ページでございます。

(4) 胎内市美術館

先ほど美術館につきましては向上しているとお伝えしましたが、彫刻巡りと美術館の鑑賞ツアー等を開催する予定でしたが中止となりました。

続きまして9ページでございます。

(5) クアハウスたいない

こちらにつきましては△・×・×・×と、△と×が目立つのですが、やはりこちらコロナの影響を受けた関係で売店販売商品、そもそも利用者が減ったということでご理解いただければと思います。特にトレーニングルームにつきましては、やはりコロナの影響を受け対策を講じていたにも関わらずなかなか実施するまでには至らず1月12日より条件を付けた中で利用開始を行いました。ただ1日に1人の利用者と聞いております。

続きまして10ページ目でございます。

(6) 越後胎内観音

(7) 櫛形山脈・蔵王山塊

(7) でございますが、ツアー整備ということでこちらは秋に蔵王山塊と櫛形山脈の軽登山ツアーを計画して4回天候の関係で中止になりましたが、2回実施して51名の参加がありました。

続きまして11ページ目。

(8) 樽ヶ橋河川公園

(9) 誠食堂

(8) では河川公園内で実施するイベント、こちらにもトレイルランという大きなイベントがございましたが中止となっております。また音楽イベントも中止です。

それでは12ページ目です。

(10) その他

宣伝の欄に馬頭観音のPRとございますがイベント自体を中止いたしまして神事だけをおこなったということで△の評価とさせていただきました。

最後になります。13ページ。

4. 辺地対策事業債を活用した計画(予定)となっておりますが、ほぼ辺地債を活用した予定としては令和2年度予定通り実地で。

樽ヶ橋遊園としては一部工事が次年度に繰り越されたということでございまして、令和3年度に駐車場改修工事ということで、その他鳥舎の解体等すべて終えて来年度で完了ということで予定としております。

私事務局から説明は以上でございます。

高橋会長：

ただ今事務局から進捗状況につきまして説明がありましたが、委員の皆さまからご意見、ご質問をお伺いしたいのですが。

はい、羽田野委員。

羽田野委員：

1ページの関係で、入込数の減少の要因にコロナの関係でというふうに述べていますが、どこでも観光関係は大変ということでこちらもこういう形になったと思うのですが、市が直営しているのではなくて委託、指定管理の部分で食堂やクアハウスの減収に対する支援対策というか、誠食堂さんについては追加をされたみたいですが、クアハウスにはどんな形で支援をされているのが聞きたいです。

事務局 南波：

それでは私から回答させていただきます。

樽ヶ橋エリアの施設に限らず胎内市が指定管理でお願いしている施設全般に1年間の収支状況を皆様にお訪ねしまして、前年よりも赤字が膨らんだとか、前年と比べられない施設に関しては計画とかそういった様々な検証をさせていただいたうえで3月に指定管理料を増額するという施設もございましたが、クアハウスにつきましては売り上げは減っていますが支出も減っている、休んだ期間がありましたしそういったところで収支としては、まだ今年度は終了していませんが計画していたところよりもさほど悪くない、赤字の見込みではないということであえて増額の必要

はないということでございます。

参考までに、道の駅胎内に関しましてもお尋ねして、若干収支悪化はあったのですが、その辺は様々なところで大丈夫だという風にお聞きしております。

営業としてはマイナスがありますがトータルではマイナスにならないという風にお聞きしております。以上です。

羽田野委員：

クアハウスについては話を聞いて意外だなと思うのですが、私は実際分からないのですが、値上げしてからなかなか大変だという状況が続いているという風に理解していたのだけど、今のお話を聞くと3割お客さんが減っても、あまり稼がない方が……。それとも逆に市のホームページを見ると、指定管理の業務評価シートがあってそれを見ると利用料金の収入、令和1年度2、400万。それに関して指定管理料が3、300万あって、その辺に関して指定管理料が果たして適切なのか、クアハウスについてはいろいろ課題があるのだと思いますが、改めて受ける会社の新生ビルテクノさんはいったいどういう会社なのか。ビル管理ですよね。飲食とか観光関係の実績はホームページを見る限りわからないので、そういう実績がある会社なのかどうか。簡単に紹介いただければと。

事務局 南波：

個別にどのような事業をやっているのかは把握しておりませんが、今回指定管理をお願いしたのが今年で終わりなので、4年前になります。その時に公募を行い手をあげて頂いているところがありますが、それ以前にもやっていただいておりますので、クアハウスの実績がそもそもありましたので観光施設の運営をしていた実績というのがあります。あとその全国的な規模のビル管理も含めてかなり大きな会社であり、ある程度信用のおけると言ったら表現が不適切かもしれませんが、怪しい企業ではないという風にはとらえてございます。

おっしゃるように指定管理料の額が大変大きい、そういった料金収入に対して指定管理料が非常に大きいというのは私どもも当然ながら問題だとは思っております。ただこの額自体3千何百万ということ事態は4年間の指定管理を公募した時に5年間の指定管理料を提示された額でございますのでその時点でそれならばお願いするということで決めた経緯がございますので、それを毎年まけてくれとかいうのは正直厳しいところがあります。

とは言いながら去年、今年などはもともと提示されていた額よりは数百万ではありますが協議とかお願いしながら少し抑えさせていただきながら運営していただいております。

それでもまだ問題があるかというところで、料金収入をいかに上げながら指定管理料を減らせるかというところを現在検討、検証しているところでございましてトータルのここは見直さなくてはという風に考えてございます。以上でございます。

高橋会長：

少し補足させていただきますと、胎内市といたしましてもクアハウスの運営については今この状態でいいと決しておりません。

指定管理料が非常に高額になっているということ、施設が老朽化してきているということ、そのようなことを色々考えながら果たして今の料金体系でいいのだろうかいうところを、市長含め私どもも至急検討するという段階に来ております。赤字も結局市民の方々がめぐりめぐって負担しているということになるわけでございますので、そのあたりを本当に市民の方の健康増進に繋が

っているのだということで このくらいの赤字までは許容できますよねという話になるのかならないのか、そこも含めて今検討を深めているというところでございますのでご理解いただければと思っております。羽田野委員よろしいでしょうか。

羽田野委員：

はい。

高橋会長：

他、いかがでしょうか。坂上委員お願いします。

坂上委員：

今日新聞で樽ヶ橋遊園 4 月 1 日リニューアルオープンとみましたが、コロナ禍の状況で入場制限とかはどのようにお考えでしょうか。まあ自然ですからそんなにはないと思いますが。コロナ対策はどのようにお考えでしょうか。

事務局 南波：

今年度（昨年）の話をさせていただくと緊急非常事態宣言が出てからしばらくは休園をしておりました。その後オープンはしましたが、市内のお客様というよりも市外だったり場合によっては県外からのお客様がいらっしゃるということで、入口でのアルコール消毒、検温をすることにいたしました。あと状況によっては入口で 350 人までの入場制限を行っていました。

そのなかでも、ふれあい動物、屋内休憩所は開放しないで用心しながら営業していましたが、状況は全国的には良くなったとは言えませんが、ある程度ここを気を付ければ大丈夫だろうというのが蓄積してきたところがございますので、今年度はふれあい動物を行い、屋内休憩所も人数を限定しながらやっていきたいという風に考えております。十分に気を付けながらも、制限だけにとどまらずある程度できることをやっていきたいと思っております。

高橋会長：

ありがとうございます。他いかがでしょうか。

羽田野委員：

3 ページ進捗状況。「ディレクターの役割を担う観光振興サポーターとはどういう仕事か？」それから第 2 次胎内市観光

振興ビジョンについて定期的に委員会を開催しながらということですが、実際開催回数はどうだったのでしょうか。私はよくわかりませんが、ほとんど開催していないのではないのでしょうか。それから、評価課題のところ、樽ヶ橋エリアの毎月 1 回、これはやっているのでしょうか。その成果はどうか。

今お配りいただいたこのアクセスマップのところ何度も言ってきたのですが、観光交流センターに道の駅胎内と目印がありますが、道の駅胎内はあのエリア全部なのだということを口頭でも何度も言ってきましたし、今日お配りいただいた計画書にもそう明記されているのにチラシにするとこうなっちゃう。大事じゃないのでしょうかね。私とすればエリア全体が道の駅だと繰り返し話していただけないかな。連携もお聞かせいただければ。

高橋会長：

何点かご質問をいただきました。

最初に3ページ①評価課題のほうの、ディレクターの役割を担うサポーターと、ディレクターなのかサポーターなのかどっちなのでしょうかとということだと思いのすけれども、

ここはいかがでしょうか。

事務局 南波：

両方とも定義がはっきりしているかという微妙なところはあるのですが、おっしゃる通りディレクターをそもそも設置するのを目指していましたが、そこがなかなか難しい所もありまして、まずサポーターということで今年度から設置をしてディレクターの役割という表現はあれなのですがディレクターに担っていただきたかった役割すべてではないのですが、それに近い活動をしていただいているという風に認識しておりまして、ディレクターではない。

役割としては10ではないですがそのうちの何割かお願いしたいところの部分は担っていただいているという風には考えています。イコールではないですがうまく表現できませんが、昨年もサポーターを設置するということでそういった議論がございましたがみなさんを引っ張っていく役割に近いのがディレクターと考えていましたが、サポーターは皆さまと一緒にやっていくイメージで考えておりまして、それをやっていただいているということでやり方の違いといえますか上手い具合に表現できませんがそういう風に考えてございます。

高橋会長：

それで2点目になります②のほうの主な施策内容で定期的に委員会を開催しということですが具体的に何回くらい開催できましたか。

事務局 南波：

ビジョンを検討する活性化推進委員会、こちらは本当であれば半年に1度やりたいと考えていましたが、今年度は言い訳になってしまいますがコロナの関係で観光振興というのが特に前半ほとんど何もできなかったの、それを検証していただくのもどうかというのがありましてまだ1回も開催してございません。

今日の午後1回目の委員会を開催いたします。結果的には1回です。

高橋会長：

3点目が②の評価課題のところ連絡会議を毎月1回開催し具体的に羽田野委員、成果ということでしょうか。

羽田野委員：

結局今ほど説明がありました市全体の推進体制との関連がね。

毎月開催しているのはお聞きしていますが、どういった成果が出ているのか。そういったことについては触れていないので。今後の課題しか書いていないのでその辺の成果を教えてほしい。

事務局 佐藤達也：

私の方からお答えいたします。連絡会議につきましては毎月1回各施設の代表の方にお集まりいただき開催しております。具体的な中身でいいますと、今まだ成果としては出ていませんが、

エリアの各道の駅さんが県内でも多くあるのですがガイドマップ、チラシなどを作成しようと次年度に向けて取り組んでいます。

以前からも行っていますが連携した施設内の環境整備ということで当番を作り清掃活動を行ったり、樽ヶ橋遊園がリニューアルオープンすることに伴いまして誠食堂さんの売り上げが極端に減っているということで例えば樽ヶ橋遊園内におにぎりお弁当を販売するといった話を進めています。高橋社長にもお話をし前向きに検討させていただきますというお答えをいただいているところでございます。以上でございます。

事務局 南波：

それに補足をしますと、4月に楡形山脈山開きで登山参加者におにぎりを販売するのはどうだとエリア会議の皆さまから意見をいただきまして、誠食堂さんにおにぎりを当日販売していただくことになりましたので連携は見えてきたのかなと思っております。

高橋会長：

最後4点目が、チラシのところに出てくる道の駅胎内の表記について、エリア全体が道の駅なのだということですがマップだとそうは見えない。表し方がこれしかできないということなのかその辺を含めて回答をお願いいたします。

事務局 南波：

それに関しましては大変申し訳ございません。意識がちょっと欠けていたかなというふうには正直反省しております。このマップの中で実際エリアをすべて道の駅と私どもも考えてはいるのですが、このサイズになるとなかなかそれを表示するのは少し難しいような気もしております。今後気を付けたいとは思いますが、ケースバイケースで、これぐらいの大きさでむしろ見えづらいだろうという場合はあえて道の駅という表記をしないか、ただそれをしないとせっかくの目印がなくなってしまうということもありますのでそのへんはケースバイケースで考えていきたいというふうに考えてございます。こちらはちょっと配慮ともうしますか不足していたかなという風に反省しております。

高橋会長：

羽田野委員よろしいでしょうか。

羽田野委員：

はい。

高橋会長：

他いかがでしょうか。石山委員。

石山委員：

評価・課題のところを述べたいと思います。今回胎内市美術館は本当に数字が表れている。非常に大勢の方が来られました。その背景にはやはりまず第一に企画が良かった。これが第一ではなかったかと思えます。企画をするにあたり美術館にこういうキルトとか新しいものを展示・企画するという事は勇気がいることだと思います。だから私はこの話をちょっと聞かせていた

だきました、美術館と皆さんがこのままではという新しい考えの人たちの気持ちがこういう形に現れたのではないのでしょうか。ましてや勇気がいるということはたまたまキルトという女性の人気がある、そしてパッチワークそのものにと組み合わせると島田桃子さんはたまたまハワイに長けている方で、開催が11月から12月にかけて、この期間はクリスマスと年末のそういう様々なものとハワイのアメリカ的な物のマッチングがすごく良かったですね。島田さんの個人の感性が非常に豊かで、それにとともなう友人あるいは生徒さんたちが新潟からかなり来られて、かなり的人数なのですね。そういったことでやはり企画・開催する本人が自分のテンションを高めて、スクリーンに映し出す美しさ、それに魅了された方々が何度も足を運んでくれる。そこに行くと気持ちが和やかになる、明るくなる。こういうコロナ禍の時に何か輝くものをとということで、たまたま企画された方、それとそこに出品された方が良い感じで相まってそれが8、000人という数字を表している。

私は今後、課題・評価ということでしたが、

一つのエリアの一つの箱の中に、色々なアイデアを駆使していくのがこれからの姿かなと思います。一番良い案だと思いました。実際出品された島田さんもとっても明るい方で、みなさんを和やかにしたりそういうところがとても素敵な方でした。

私の方からちょっとお話ししたときに、「先生ここあれですね。美術館に電気をつけるともっと明るくなりますよ。」クリスマス用のライトを付けたりしていただいたのです。そうすると美術館が輝くのですね。そういうふうなアイデアとして今後ほかの施設含めてやっていくべきかなと考えました。

もう一つは、誠食堂さん、コロナの影響でなかなか苦労されていますが、誠食堂に入った時の雰囲気は他の食堂の感覚よりも良い。帰る時に玄関先まで見送ってくれるのです。そんなところはないですよ。

私も少人数ですけど10人程度紹介して連れて行ったことがあるのです。

食事内容も良いですし、満足して帰られた。サービスも良い接客も上手だ。そういうところが積み重なって行って口コミで広がっていく。

今後樽ヶ橋遊園の集客の流れで帰りに食事をしようねというこういう流れが良いですね。

エリアが活性化させる、気持ちよくまた来てもらえる。

樽ヶ橋エリアそのものの温かさ、おもてなし、優しさ、そういうのが樽ヶ橋エリアのよさだと思います。家族で来れるそういう位置づけにしてほしいなと思います。

高橋会長：

ありがとうございます。私の方から美術館の職員に今の内容を伝えたいと思います。

大変ありがたいお言葉をいただきました。他はいかがでしょうか。

羽田野委員：

キャッチコピーは予想外の応募があつてよかったと思います。

選考委員会に私も出させていただいたのですが、キャッチコピーの1位の内容は今日書いてありますが、それ以外のものも非常に良いものがあるから内容によっては使えるのではと話をしていましたが、その辺がどうなったのかというのが1点。それから私はたまにしか見ていないので誤解があるかもしれませんが、樽ヶ橋エリアの駐車場が混雑している場合、探して停めてくれというふうになっておりますが、人を立たせるのは厳しいのかもしれませんがそこまでやれないのかと思う。案内看板をだすとかもっと丁寧にそれこそエリア全体会議の時に話すとかその辺をお聞

きしたいなと思います。

高橋会長：

2点ございましたが、キャッチコピーの2位以下についてどのような活用方法があるかということについて事務局からお願いします。

事務局 南波：

羽田野委員がおっしゃる通りその時、他にもいくつか良いのがあるので今後確認するという話をしましたが、確認がまだでしたので今後どういう場面で使えるか検討したいと思います。混雑時の案内看板を何か考えなくてはなりません、そこに関係する皆さまのご意見という認識はどうだろうということで、観光協会の局長はいかがでしょうか。

胎内市観光協会 須貝委員：

もともと狭いのですぐに満車になるのですが、満車になった時には「満車」の看板を出すようにはしています。満車の場合はクアハウス前の駐車場に停めてくださいというような看板を出していましたが、何せ風が強くて壊れてしまったり、場合によっては飛んでしまったりということもあって今は満車の看板しか出していない状況です。道の駅の入口のところにはクアハウス前の駐車場をご利用くださいというような形で書いてあります。

施設間エリアの会議の時には満車になった場合は美術館の裏を使用してもらうようにと、この間の話で言っていました。樽ヶ橋遊園の第2駐車場がなかなか使われないのでシーズンによっては路上駐車をしたり道の駅のところでもラインの引いてないところに勝手に停めていたりということがあってできるだけそういうことがないようにしたい。いろんなところに停める人がいるのだなと思った。誘導員を雇うお金がかかるので実際はなかなか難しいですが。

看板で美術館の裏に臨時駐車場がありますのでそこへ行くような流し方というのは、実際人が立っているよりも今一つかなと思います。

高橋会長：

美術館の裏の舗装されていないところの駐車場、年間で何回くらい。

胎内市観光協会 須貝委員：

シーズンでクアハウス前が満車でやむをえないから停めるのですが、なかなか美術館の裏が駐車場になっているということ認識しづらいという形はあると思います。舗装もされていないし。

事務局 南波：

正直普段はそこが駐車場だという表示もしていません。ゴールデンウィークとかそういった時だけ臨時駐車場看板を出している状況なので、ゴールデンウィーク以外の混雑時は尚更局長さんがおっしゃるようにならないというところもありますし。

胎内市観光協会 須貝委員：

路上駐車は警察の方にも指摘をされたのでシーズンになると考えてくださいと言われます。

高橋会長：

樽ヶ橋遊園がリニューアルされて本当に多くのお客様が訪れるので、土日ゴールデンウィークだとかはもう少し、確かに風が強いところなので常時看板設置するというより特に混むのが予想されるときに看板表記をしておくようにというのを心がけていただければ。

他にいかがでしょうか、ないようであれば議題につきましてはいったん終わらせていただいて、議題の（２）その他でございますが、事務局の方からお願いします。

事務局 佐藤達也：

本日議事録をとらせていただきました。議事録の確認ということで皆さまに郵送いたしますのでご確認お願いいたします。

高橋会長：

議題としては以上でございます ありがとうございます。

事務局 佐藤利勝：

それでは続きましては４の報告事項でございます。説明につきましては商工観光課南波課長より説明をさせていただきます。

事務局 南波：

第２次樽ヶ橋エリア活性化基本計画・実施計画を統合する件でございますが、計画の統合というよりもまずは計画の検証と委員会のあり方というところでございます。

樽ヶ橋エリア活性化基本計画・実施計画は平成２３年度に策定をしまして、その進捗管理をこの委員会で委員の皆さまに委嘱し検証をしていただいております。

それができた経緯といいますか、それ以前に胎内リゾートエリアをどうやって行こうといったマスタープラン、それを実施計画どうやって行くかといったアクションプランという計画がほかにもありましてそれぞれ委員会がございました。

平成３０年度に第２次胎内市観光振興ビジョンを策定した時に計画、委員会がいくつもあって分かりづらいというところが正直ありましたのでマスタープランとマスタープランのアクションプランは廃止し、新たなものは作らずにビジョン１本ということにさせていただいてそれに関する委員会も廃止にいたしました。

その際に、樽ヶ橋エリアの活性化検討委員会をどうするかというところもあったのですが、まだ委員の皆さまの任期が残っていたので任期が終わるまでは継続させていただいたところがございます。委員の皆さまの任期もこの３月で終了するというところがございますので、今後新たに委員を委嘱するということはせずに、委員会は事実上設置しないで基本計画、この計画自体はもう１年ございますのであえてお手元には統合とあるのですが、計画をビジョンに統合するということまではせずに計画自体は樽ヶ橋エリアとしての方向性だとかこういう風に活性化していこうという考え方自体は変えずに計画は残した状態で、その検証というのはあえて個別にはせずに必要に応じて、場合によっては観光活性化推進委員会で検証をしていきたいと考えてございますのでご報告させていただきます。以上でございます。

事務局 佐藤利勝：

今ほど南波の方からの報告で樽ヶ橋活性化検討委員会はそのような方向で対応させていただいた

と思います。それでは閉会になりますので閉会の挨拶を平川副会長からお願いします。

平川副会長：

皆さんお忙しいところありがとうございました。お話にもありました通り委員会がなくなるということでございますけれども、樽ヶ橋エリアというのは冒頭で会長のお話にもありましたが、胎内観音が扇の要と大事なところだと思っておりますので、委員会が無くなりましてもこれからもご意見を頂戴したいと思いますので、ぜひこれからもよろしく願いいたします。

お疲れ様でございました。